



いつの間にか今年も残すところ一か月。  
あわただしい師走がやってきます。皆様にとって  
この一年は実りあるものでしたか？  
あっという間に一日が過ぎてしまう私には、  
なかなかじっくりと物事を考えるということも  
出来なくて・・・  
でも、俳句はそういう時にも、ふとした和みを  
与えてくれるような気がします。

今回もうさおさん、健さんの作品が届きました。まず、うさおさんの句です。



### 朝寒は胃を締めつける顔顰む

良くわかります。寒いと胃も痛くなりますよね。  
一文字だけ変えてみました。はよりものの方が口に出した時のリズムが  
良いのでは・・・と思います。\*朝寒の胃を締めつける顔顰む

### 駅までの道遠かりし雨寒し

遠かりし、雨寒しと重ねてあるので雨寒しを時雨れるとしてみませんか。  
\*時雨るるや駅への道の尚遠し

### 隣家は葉を脱ぎ捨てて寒の雨

この句とても良いですね、葉を脱ぎ捨てたのは木なのに、まるで家そのもの  
が葉を脱ぎ捨てたよう・・・面白いです。季語も効いていますね。

### 陽が長し犬のトロットシルエット

犬が規則正しいかけあしをしているシルエット。良い場面を詠まれています  
すが。陽が長いのは冬の季語にはなりませんので、小春日を使ってみました。

### \*小春日の犬のトロット影長し

### 新しきパソは欲しいが小寒まで

実感ですね。新しいパソコンは今しばらくの我慢でしょうか？パソは欲しい  
が・・・が気になります。まず、パソという略語は出来るだけ使わない方  
がよいのです。もちろん、パソコンも略語ではありますが、一読で意味が  
解りますのでこの場合大丈夫かなと思います。

次に欲しいと言ってしまうとパソコンの事・・・だけで、新しいパソコンに  
ついて話しているな・・・とか欲しいのだな・・・とか読み手に考えてもら



余地を残すのです。小寒（しょうかん）という季語はありますがこさむと  
いう季語は無いのです。すんなりと十二月としてみました。

意味は少し違いますが、こんな風にいろいろと推敲してみてください。

### \*新しきパソコンの事十二月

続いて健さんの句です。

#### 木の実落つ歩幅の合はぬ石段に

実景ですね～石段を上がる足取りまで見えてきます。良い句ですね。

#### あとがきを先に読む癖冬林檎

季語との取り合わせが良いです。こんな風に上五中七とまったく  
関係のない季語をもってきて、しかも季語が動かない。この場合みかんや  
柿では駄目で、やっぱり冬林檎ですよ。これも好きな句です。

#### ブルースの流れる歌碑や冬の薔薇

この句も良いです。～～や+名詞止 基本に忠実に詠まれています。

#### 対岸に工場並ぶ枯野原

対岸に並ぶ工場枯野原とされた方がリズムが良いかな・・・

情景の浮かぶ句ですね。俳句の基本、写生がきちんとなされている句です。

うさおさんは面白い発想を持っていらっしゃるので、  
それを元にして、少しだけ推敲すると本当に良い句になると思います。  
健さんは添削の必要がないくらいお上手になられましたね。  
これからもどんどん良い句を作ってください。

お二人に負けないように、私もたくさん句を詠みたいと思いました。

次回も投句お待ちしております。

#### 鈴なりの蜜柑心の丸き人



#### ひといろは淡き桃色毛糸玉

ゆうこ

